

中部大学のFD活動

中部大学では、2008年度からFD（Faculty Development）活動の重点目標として『魅力ある授業づくり』を掲げ、FD活動を推進することに加え、大学運営をより高度化するための観点から2022年度より全学的なSD（Staff Development）活動の推進にも積極的に取り組んでおります。これらの取り組みをより実質化するために、高等教育に関する知識、授業運営に関する手法、スキルの習得等を目的とした様々なプログラムを本学FD・SD委員会主催で全学の教職員を対象に定期的を開催しています。

中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム

全学の教職員を対象とした高等教育に関する知識や授業運営に関する手法やスキルの習得を目的とした「FD・SDフォーラム、FD・SD講演会」「キャリアアッププログラム」「FDカフェ」、授業のピア・レビューや意見交換を行うことでより良い授業運営を目指す「授業サロン」「全学公開授業」などを行っています。

すべての教員が持続的に教育力の向上を目指すことを勧奨し、FDプログラムへの積極的な参加を奨励するために、FD・SD委員会が主催しているFDプログラムを活用して規定の要件を満たしたものに対して、本プログラムの修了証を授与します。

↓ 2024年4月より中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムを活用した新任教員を対象としたFDプログラムが新たにスタートしました！ ↓

新任教員向けFDプログラム

社会情勢が激変し、それに伴い学生気質も大きく変化している昨今の状況から、そうした学生の変化に対応するために、大学として新任教員を教育面でより一層フォローする体制の構築が必要であると考えました。

これを踏まえ、大学教員に求められる授業技術を学び、本学学生の気質や特徴を知ingことを目的とした新任教員向けFDプログラムを2024年4月より実施しています。

本プログラムは、中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムの中から特に受講が望ましいプログラムを参加必須としています。該当する必須プログラムを含め規定の要件を満たしたものに対して、本プログラムの修了証を授与します。

『魅力ある授業づくり』は、学生と教員が協同して行うものです。

魅力ある授業・・・ (学生にとって)興味を持って聴ける授業、将来において役立つ授業
(教員にとって)学生の成長を実感できる授業、学生から感化を受ける授業

授業づくり・・・ (学生が目指す)自主的に学ぶ態度、知識・技術の修得
(教員が目指す)授業改善、授業スキルアップ

(学生と教員が目指す)双方向のコミュニケーション

■ 中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム

目的：

本学の教員が持続的に教育力の向上を目指すことを勧奨し、別表FDプログラムへの積極的な参加を奨励する。

内容：

主に本学FD・SD委員会が主催するFDプログラムへの参加により、規定の修了要件を満たしたものに、その努力を称えて修了証を授与する。

修了要件：

以下の2つの要件を満たした場合、本プログラムを修了したものとする。

①獲得ポイント

3年以内に別表1に定めたプログラム参加ポイントの合計が15ポイント以上。

②必須プログラム（別表1★印表示）

全学公開授業による授業を公開、または、授業サロンに参加。

※ただし、個人で授業を持たない教員等本条件を満たすことができない場合は、申し出によりキャリアアッププログラムで行う「マイクロ・ティーチング」関連のプログラムへの参加で代替することができる。

■ 新任教員向けFDプログラム

目的：

本プログラムの到達目標として「大学教員として求められる授業技術を学び、本学学生の気質や特徴を知る」を掲げ、新任教員を中心としたより広い層の参加を促進し、教育力の向上を図る。

内容：

高等教育機関における教育歴（非常勤含む）が通算3年以下の教員※（年齢、前職は問わない）を対象に中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムで実施しているFDプログラムへの参加により、規定の修了要件を満たしたものに、その努力を称えて修了証を授与する。

※助教以上の専任教員が対象。ただし、センター・研究所等の所属で授業を持たない教員の他、準専任、助手や任期制教員（嘱託教員、特任、OPELT教員等）は任意受講とする。

修了要件：

以下の3つの要件を満たした場合、本プログラムを修了したものとする。

①受講期間

赴任後3年以内に別表1および別表2に定めた  印があるプログラムを受講する。

②獲得ポイント

必須プログラム計9ポイントを含む合計11ポイント以上。

③必須プログラム（別表1、2   印表示）

キャリアアッププログラム（別表1）および新任教員説明会（別表2）に参加。

(別表1) 中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム
(一部「新任教員向けFDプログラム」を含む)

プログラム区分	目的・概要など		ポイント付与状況等	ポイント
① 全学公開授業	授業公開 ★	自分の授業の課題を明確にし、抱えている問題や悩みに関するアドバイスを得る場として位置づけて授業を公開します。	自分の授業を全学に対して公開	2
	授業見学 ♥	授業を見学することで、自己の授業での改善点のヒントを見つけることができます。	全学公開授業に参加(見学)して、コメントシートを提出	1
② 授業サロン ★	異なる分野、文理の壁を越えた教員(5人程度)が、互いの授業見学を行い、授業の考え方、学生の反応、問題点、工夫、改善案等について、情報交換・意見交換を通じ、教育上における問題対応策や様々なケースにおける授業改善のヒントを見出すことを目的としています。		授業サロンに参加	5
③ FD・SDフォーラム、FD・SD講演会	大学教育等の改革・改善・質的向上を目的として、他大学での実例をはじめ、教育活動の報告や紹介、教育改革・授業改善のための意見交換などを行います。		FD・SDフォーラム、FD・SD講演会に参加	1
④ キャリアアッププログラム ♥★	大学教職員として必要とされる情報、本学教職員として直面している問題点を考慮し、授業技術(目標設定、成績評価方法、授業方法論、模擬授業等)、話し方、学生への対応をテーマに本学の教学に関する教育システムの概要などの項目に着眼したワークショップ形式を取り入れた実践的なプログラムです。		キャリアアッププログラムに参加	2
⑤ FDカフェ ♥	学生の多様化、基礎学力の低下の問題など、学生と直面しているテーマなどを話題として、教職員が自由に意見交換をすることで、悩みの共有や課題の解決へのヒントを得ることができます。		FDカフェに参加	2
⑥ FDオンデマンド講義 ♥	全国私立大学FD連携フォーラム(JPFF)が運営している実践的FDプログラムのオンデマンド講義の視聴により、教員が自らの授業を専門分野と教育学の観点から省察することができる知識を修得する研修プログラムです。		所定期間にプログラムに申込のうえ、オンデマンド講義を視聴し、視聴報告書を提出<1分野(科目)あたり1ポイント>	1
⑦ 学外のFD関連の学会・フォーラム等	他大学、機関が開催するFDに関連する研究会やフォーラム等に参加し、学部・学科等を対象とした報告会を開催のうえ、学内で共有、情報発信することで自己啓発につながる活動を推奨しています。		所定の報告会実施報告書を提出	1
⑧ その他、FD関連の企画等 ♥	学部・学科等が主催するFDに関する学内企画(プログラムは、全学教職員対象で事前にメール等で案内されているもの)。		企画に参加 ※主催者からの報告に基づく。	FD活動WGにて決定

*プログラムが2つ以上の区分に該当する場合は、ポイントの高いプログラム区分を優先する。

(別表2) 新任教員向けFDプログラム

プログラム区分	目的・概要など	ポイント付与状況等	ポイント
⑨ 新任教員説明会 ※新任教員は全員参加 ♥★	4月初旬に開催する新任教員説明会へ参加し、本学の教学・FD活動等の概要や、新任教員向けFDプログラムの趣旨・内容について理解する。	新任教育説明会に参加	1

プログラムの修了要件と開催頻度

プログラム区分		ポイント	年間開催スケジュール	『魅力ある授業づくり』プログラム (いずれか必須:★)	新任教員向けFDプログラム (必須:★)
① 全学公開授業	授業公開	2	各学期ごとに募集	★	
	授業見学	1	各学期ごとに募集		♥
② 授業サロン		5	各学期ごとに募集	★	
③ FD・SDフォーラム、FD・SD講演会		1	不定期		
④ キャリアアッププログラム	授業技術	2	各学期2回程度		♥ ★ ※2回受講
	話し方	2	各学期1~2回程度		♥ ★
	学生対応	2	9月頃1回		♥ ★
⑤ FDカフェ		2	各学期1回程度		♥
⑥ FDオンデマンド講義		1	通年		♥ ※2科目受講
⑦ 学外のFD関連の学会・フォーラム等		1	不定期		
⑧ その他、FD関連の企画等		FD活動WGにて決定	不定期		♥ ※上限2ポイント
⑨ 新任教員説明会		1	4月初旬1回		♥ ★

『魅力ある授業づくり』プログラム	別表1に定めたプログラム参加ポイントの合計が15ポイント以上。ただし、合計ポイントには、必須プログラム(★)のポイントが含まれていること。
新任教員向けFDプログラム	別表2のプログラムおよび別表1に定めた必須プログラム(♥★)(9ポイント)と、それ以外のプログラム(♥)から2ポイント以上受講し、参加ポイントの合計が11ポイント以上であること。

新任教員向けFDプログラムとして受講し、取得した参加ポイントは、中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムのポイントとしてもカウントされます。中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムの修了要件も満たせば、修了証を同時に受賞いただくことも可能です。

修了モデル例

	1年目		2年目		3年目		獲得ポイント	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
『魅力ある授業づくり』プログラム	2	3	3	2	2	5	17	→  修了証
新任教員向けFDプログラム	3	3	3	2	2		13	→  修了証